

# 150回目を迎えた「市民おもしろ塾」

渡邊 耕佑

まずもって、日頃市民の皆さまや関係諸団体からは『市民おもしろ塾』を温かく見守っていただき、講座開催へのご助力に感謝申し上げます。これまで、新型コロナウイルス感染症のために実施できない時もありましたが、「細心の注意を払い万全の態勢で開催する」と「3密回避・体温測定・消毒・マスク着用」を徹底して再開し、毎回平均50名の参加で盛況のうちに現在に至っております。

『塾』の基本は、市民の皆さまに「良質なおもしろい講座」を提供することにあります。文学、歴史、自然、

医療、介護、音楽、スポーツ、笑い等々ジャンルを問わず、私たちの生活に関わる事なら何でも取り上げてまいりました。能代市が募集する『市民まちづくり活動支援事業』にも回連続で認定され、「毎回参加者も多く楽しみにしている方が多い／市民究の生涯学習の場として定着している／多彩な講師陣と受講生の熱心な参加意欲は感嘆の極みである」などと高い評価を得ております。また、秋田県地域振興局表彰や『山本太郎地域文化奨励賞』を受賞し、活動への意欲を一層高めることになりました。

さて、平成28年9月に始めた『市民おもしろ塾』は、足かけ9年の令和6年7月で第150回という大きな節目を迎えることになりました。50回の際に『市民おもしろ塾』の現状を「塾の位置付け／講座と講師／会員／参加状況／塾の予算」などについて、100回目の時には、「今『能代市』で何が必要なのか、何が求められているのか」が薄々ながら

## 文化

ら見えてきた」とまとめ、紙面をお借りして報告致しました。

特に「杉沢台の縄文遺跡／博物館の魅力について」などの講座を提供しながら、「能代の文化とは何なのか。何が必要なのか」について考えることになり、平成30年12月の『要望書』本市に所在する各種文化財の保全等について(能代市長と市議会議長宛し)を、県文化財保護協会能代支部と連名で提出しました。

翌年3月議会で要望書が採択され「旧小瀬川に郷土資料収蔵庫設置、市教委に文化財保護室設置」が具体化したものの、その後の進捗状況は遅々たるもので、市長が言う『集客と交流の複合施設』とは何なのか、いまだ不透明のままです。「能代の歴史や文化の拠点」として、郷土資料・文化財・美術品等の保全・管理について『公』の力量が問われていると思います。『市民おもしろ塾』の活動の柱に位置付け、しっかりと見極めたいと考えております。

さて、『80歳までは現役だ!』と意気込んで始めたものの、70歳を過ぎてからの1年の重さを、今は痛感しているところです。これからも、①座学だけでなく野外講座②地域出身者の愛郷講座③会員の人脉を生かした講座④他団体との共催講座や企画⑤市民からの希望講座・講師などにも力を入れ、一層の充実を図って

いこうと考えております。『市民おもしろ塾』のホームページやフェイスブックも立ち上げておりますので、参照ください。

21日に能代市文化会館中ホールで第150回を記念する講演会と演奏会を開催し、これまで『市民おもしろ塾』を支えてくれた皆さまと共に喜びを分かち合いたいと思います。三種町鹿渡の松庵寺の渡邊英心副住職をお迎えし、『輝く今を一緒に生きよう』お寺とカフェと音楽のお話&ライブ』をテーマにして音楽

の魅力に迫ります。

いまだ新型コロナウイルスは終息しませんが、現状打破・コロナに打ち克つ想い・願いを込めてご参加いただきたくご案内申し上げます。

(市民おもしろ塾代表)



市民おもしろ塾「第150回記念講演会・演奏会」は21日午後1時30分から市文化会館中ホールで。入場料は300円(会員200円)。当日はマスク着用を呼び掛けている。問い合わせは事務局(☎090・7792・1293)へ。